

事業の名称： 永井隆博士生い立ちの家を活用した担い手育成事業

団体名	雲見の里いいし	事業費	¥85,307 円
代表者	妹尾 富徳	補助金交付額	¥80,000 円

現状と課題

飯石地区はこれまでもボランティアガイド育成やガイドブック作成など、永井隆博士の顕彰事業に取り組んでいる。三刀屋町多久和下口にある永井隆博士生い立ちの家は、傷みが激しく電気水道が通っていないため近年は活用しにくい状況にあり、平成 30 年に要望書を提出し、修繕や維持を求めてきた。このたび屋根の葺き替え工事が完了したが、現状のままでは再び屋根は劣化し家は傷んでしまう。生い立ちの家という貴重な地域資源を守り、永井隆博士の「平和を」の精神を次世代に継承するためにも、この機会を逃さずに活用を進めていくことが課題である。

事業の目的

地域の保護者世代、担い手世代が中心となって、生い立ちの家の活用を考える事で、地域資源への意識を高める。

生い立ちの家の屋根の葺き替えを冊子にまとめ、記録として残すだけでなく、これを販売し自主財源の獲得を目指す。

実施内容

- ① 令和 4 年 8 月 12 日(金)お披露目会
 - ・ 生い立ちの家のお披露目会を行った。来訪者 12 名。
- ② 令和 4 年 10 月 30 日(日)ハロウィン親子ウォーク
 - ・ 飯石地区の親子が仮装して、旧飯石小学校から生い立ちの家まで歩いた。参加者 48 名。
- ③ ライトアップ(令和 4 年 11 月～令和 5 年 3 月)
 - ・ 定期的にライトアップを行った。年末年始は地域外からも協力いただきイルミネーションも点灯した。
- ④ 令和 5 年 1 月 22 日(日)永井カフェの集い
 - ・ 生い立ちの家の活用を考える「永井カフェの集い」を立ち上げ、説明会を行った。
- ⑤ 令和 5 年 2 月 26 日(日)第一回永井カフェ
 - ・ 博士についての説明や、生い立ちの家の見学、自由なお茶のみ場を開催した。またその際に「永井カフェ通信」を発行し、活動の周知に努めた。参加者 25 名。



◇成果と課題

保護者世代や地域内外の方々協力を得て、さまざまな事業を行うことができた。今後も生い立ちの家に親しむ活動を続けていきたい。永井カフェは年 6 回程度の開催を目指しており、生い立ちの家をテーマとしたガイドブックの発行にも取り組む予定である。

また地域の親子や地域内外の若い世代にも気軽に使ってもらえるよう発信に取り組み、「平和を」の精神を幅広く伝えていきたい。